



日本自然
保護協会

団 体 名：公益財団法人 日本自然保護協会

設 立 年：1951年10月

住 所：東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F

代表者名：理事長 土屋 俊幸

〔活動概要〕

尾瀬の湿原を開発から守る活動を契機に1951年に設立。

以来70年以上、日本の豊かな自然を未来に引き継ぐため、調査研究・保護活動を行う。
生態系の復元や絶滅危惧種の保護、環境教育などの人材育成にも力を入れている。

日本の美しい風景をそのままに。
50年、100年先にも豊かな自然を子どもたちへ贈り続けたい

日本自然保護協会の遺贈・遺産寄付担当の鶴田様、芝小路様にお話を伺いました。

Q. 日本自然保護協会様のご活動内容と、いただいた寄付金の活用先について教えてください。

－当会は団体名の通り、山のでっぺんから海の中まで、全国をフィールドに、日本の豊かな自然を未来に引き継ぐため自然保護活動を70年以上にわたり行っています。

自然を守り続け、劣化した生物多様性を復元していく活動は、50年、100年といった長期的な計画が必要となるため、遺贈寄付や遺産寄付のご支援が大変役立ちます。たとえば、群馬県みなかみ町の赤谷（あかや）の森では、密生した人工林を伐採して自然林へ復元しながら、同時に絶滅危惧種のイヌワシの生息環境向上のための調査を行い、イヌワシが狩りをできる草地をつくるといった大規模な保全活動に取り組んでいます。こうした活動は、ご寄付なしには実現できませんでした。

また世界的に見て、日本は海的环境保全が遅れています。当会では長年、海の生態系保全にも力を入れています。海中の調査や保全活動は潜水や船舶の準備が必要なため、毎回の調査にも多大な費用がかかります。サンゴ礁をはじめとした海環境の継続的な調査や保全活動にも皆さまからのご支援を活用させていただいております。

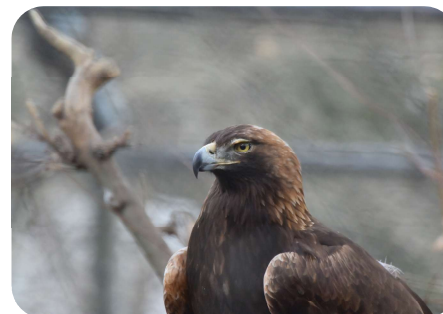
Q. 日本全国の自然を守るために、どのような体制を取られているのでしょうか？

－当会が多方面・多分野の問題に目を向けていられるのは、全国に地域の自然を見守る「自然観察指導員」というボランティアリーダーの皆さまがいるからです。指導員は、当会独自の登録制度で、全国で約8000人の方々地域に根ざした自然観察会を開き、自然を守るための活動を行っています。長い方では40年以上活動されている方もいらっしゃり、このような「自然を見守る目」が全国ネットワーク化していることは大変心強く、私たちの活動の支えとなっています。



Q. 寄付者様からはどのようなお声をいただくのでしょうか？

－さまざまな考えからご支援くださる方がいらっしゃいます。たと



えば、長年にわたり当会をご支援くださっていた元幼稚園長の方は、「子どもたちの未来のために環境教育を普及する活動に役立ててほしい」との願いを込めて当会へ遺贈寄付をくださいました。その方は生前、自宅の庭に来る小鳥たちに餌をやって楽しまれたり、幼稚園では子どもたちに「お花が咲いたね」とよくお声がけをされるなど、自然をとても愛されていたそうです。いただいた寄付金は自然観察指導員の育成に活用させていただいています。

また建築関係の仕事に携わられていた方で、仕事で自然に迷惑をかけてきたと感じ、その恩返しとして寄付を

したいという方もいらっしゃいました。**人生の最期を考えた時に、環境や自然を思い返されてお問合せくださる方が多いと感じています。**

Q. 遺贈寄付を受けた場合に、寄付金を活用したい事業・活動があれば教えてください。

－生態系の復元や、それに関連する絶滅危惧種の保全はもちろんですが、それ以外では、環境教育をはじめとした人材育成にも力を入れていきたいと思っています。

日本は生物多様性のホットスポットと言われるほど豊かな自然がありますが、現在、次々と自然が失われ、身近な自然体験が減り、**子どもたちの自然離れが深刻化していることに危機感を覚えています。**また都会であれ、地方であれ、ゲームやネット環境に囲まれて育った子どもたちは自然に触れる機会が少なく、環境問題への意識が芽生えにくいことも課題です。

「すべての子どもに自然を！」プロジェクトでは、前年度にいただいた寄付金を活用し、13の保育園に自然観察指導員を紹介し、園内外で自然観察会を開催するなどの活動を行いました。

今後も、子どもたちへ自然体験の機会を提供しながら、他の生き物のことも考えられる心を育ててもらえたらと思っています。

Q. 最後に、読者のみなさまへメッセージをお願いします。

－当会は70年以上前、水力発電用のダム建設計画にさらされた尾瀬の湿原を守る活動から始まりました。遺贈寄付をお願いする冊子等には、現在の子供たちが尾瀬を歩いている写真を使うことがあり、それを見て尾瀬を懐かしく思い、寄付を決めてくださる方もいらっしゃいます。

私たちの活動の大きな成果は、昔からの恵み豊かな自然が残り続け、「以前と変わらない」状況が続くことです。何十年応援しても目に見える変化を感じにくい、支援の実感を得にくいこともあるかもしれません。ただ、今もこうして尾瀬の自然を楽しめるのは、70年前にこの環境を守ろうと活動した人たちがいたからです。私たちは50年、100年先に、今と変わらない自然を確実に未来に贈り届けるための活動をしています。この思いに共感してくださる方がいらっしゃれば、是非あたたかいご支援をくださると嬉しく思います。

鶴田様、芝小路様、貴重なお話を誠にありがとうございました！

